

【謝 辞】

本論文は、中部大学工学部都市建設工学科の杉井 俊夫教授、山田 公夫教授のご指導のもと、筆者が2010年から2014年の間に中部大学大学院工学研究科において実施した研究成果と、その後の研究成果をまとめたものです。この間、多くの方々の多大なるご指導とご助言を賜りました。杉井教授、山田教授、中部大学 平澤 征夫客員教授、名古屋大学 中野 正樹教授には、本論文の審査をしていただきました。先生方のご熱心なご指導により学位論文をまとめるに至ったことを深く感謝いたします。

杉井教授・山田教授には、本研究について既存研究がほとんどなく手探りで研究を進める状況であり、その時々両教授から解決すべき種々の問題について、親身にご指導していただき深く感謝いたします。その他、中部大学工学部都市建設工学科の先生方には、研究分野が異なっているにも関わらず、親身にご指導・ご助言をいただき深く感謝いたします。

本論文をまとめるに当たり、研究目的・内容に関して平成8年度の岐阜県下呂市におけるJR 落石事故を垣間見て、筆者はその危険性を身にしみて感じました。その後、岐阜県が実施した平成8年度道路防災総点検に参加する機会を得て、岐阜県全域における落石災害実情と対策の必要性を痛感いたしました。その際に、岐阜県道路維持課や各土木事務所の維持担当者などと一緒に道路防災業務を携わるに当たり、少しでも道路防災に寄与できればと、業務の一環として時には落石調査技術者としての意見を述べさせていただき、より安全に道路が利用できるように努めて参りました。その後、岐阜大学での研究生活に入ることとなり、以前から道路防災の業務に関してご指導を頂いていた岐阜大学 八嶋 厚教授、沢田 和秀教授から斜面防災に関し、適切にご指導とご助言を得て、さらに深く斜面災害について知識を得ることができ、両教授のご指導には深く感謝いたします。

本研究では、自然斜面の特性把握や詳細な地形図データなどが必要となり、八嶋、沢田両教授には、資料収集や解析上のご指導を賜りました。また、岐阜県庁の県土整備部の各課ならびに各土木事務所から、研究に必要な情報・資料を提供していただくことができ、研究を遂行するうえで非常に役立ちました。関係者各位には深く感謝いたします。

本研究を進めるに当たり、現地調査・解析作業など全般にわたり杉井教授にはご助力をいただいたほか、岐阜大学での研究期間中や現在も中部大学 余川 弘至助教には、解析作業の手法指導など多大なご助力をいただき深く感謝いたします。

本研究中に共同で現地計測・解析作業を行っていただいた中部大学工学部都市建設工学科の沢田 敬太氏（現（株）ヒメノ）、市川 夏輝氏、上野 剛氏、梅基 哲矢氏、稲垣 隆史氏（中部大学大学院工学研究科）には深く感謝いたします。また、地盤振動計測・解析では、岐阜大学工学部の八嶋・沢田両教授のほか、解析・計測手法についてご指導をいただいた森口 周二先生（東北大学准教授）、野々山 栄人先生（名古屋大学助教）、小田 健一先生（日本大学助教）、野々山 麻衣子先生（岐阜大学助教）、原隆 史特任教授（岐阜大学）、馬 貴臣特任准教授（現応用地質株式会社）、檜尾 正也特任准教授（現名古屋工業大学）、辻 慎一郎特任助教（現前田工織）ならびに岐阜大学の学生・院生の諸氏にご協力を頂深く感謝いたします。

本研究には、落石現象の解析のみならず道路等における道路防災リスク管理も重要な位

置を示しており、リスク管理に関しては岐阜大学の本城勇介教授ならびに、八嶋教授、沢田教授、大竹 雄先生（現新潟大学准教授）、高木 朗義教授（岐阜大学）、倉内 文孝教授（岐阜大学）、村上 茂之准教授（岐阜大学）など諸先生からご指導をいただき深く感謝いたします。

本研究では、研究対象が落石災害であるため個々の被災現場における詳細調査・解析が必要となり、このような被災箇所に関しての資料収集や現地状況把握などに株式会社テイコクの地質・防災部門の方々には特にご助成を頂きました。特に、香田 明彦氏、野呂 真児氏、川瀬 幸一氏には、公私を超えてご助力を得たことを深く感謝いたします。

平成 27 年 2 月

浅野憲雄